

令和6年度 教育活動その他の学校運営

専門学校 関東工業自動車大学校

1. 学校の運営方針

現政権の経済政策で、景気の先行きに明るい見通しが出てきたとはいえ、学園を取り巻く環境は依然厳しい状況である。

経済環境に左右されず経営の安定を図っていくには、資格取得を中心に、学生たちが社会人として力強く「生きる力」を身につけさせることが必要である、そのためには教職員の質の向上を通じた教育レベルの向上を図ることを地道に続けることが重要である。

卒業生が12,000人を超えた今日、本学園の社会的役割、教育理念を再確認したうえで、本学園の教育力の高さ・幅広さや面倒見の良さ、そして自分の夢をつかみ取ることができる学校であることを例示したパンフレットを作成する予定である。

学校運営の安定を図るため、教職員全体がしっかりと目標を認識し、目標達成するための方法・考え方を共通の認識とするため意思疎通を積極的にすすめ、営業担当者と教務担当者による合同営業戦略会議を毎週開催し、現状などについて情報交換を行っている。

教育の質の向上を図るには、教職員の意識を高める必要があるため、企業連携による様々な教職員研修を積極的に実施している。

2. 学校の概要

①建学の精神

「学校法人正興学園 専門学校 関東工業自動車大学校」は、高度に発展、成熟する今日の自動車産業に対応できる技術・知識を吸収し、職場の中で直ちに役立つことのできる技術者を育てる。また、健康な身体と豊かな人間性を兼ね備えた将来の幹部となる人材を育成する。

また、経済的理由から教育の機会をあきらめてしまう若者たちに、夢と希望を与えていくためにしっかりとした教育支援をしていく。

②本校の特色

本校は、学生個人が将来やりたいことや、好きなことを見つけるために様々な授業・体験を行っている。その上で力を入れていることは、どのような社会状況においても「自分自身をプレゼンテーションできる力」すなわち、企業（社会）から必要とされる人間力を育む校風である。

③校 長 : 中川 裕之

④所在地 : 埼玉県鴻巣市糠田 2 6 1 8 - 8

⑤沿 革

昭和 53 年 7 月 12 日 : 学校法人正興学園ならびに関東工業専門学校設置計画書伺提出

昭和 53 年 7 月 31 日 : 同上伺書承認される

昭和 54 年 3 月 16 日 : 埼玉県私立審議委員による現地調査

昭和 54 年 3 月 31 日 : 学校法人設立の寄付行為ならびに関東工業専門学校設置認可される。定員 100 名

昭和 54 年 4 月 5 日 : 校舎及び第一学生寮落成。開校式挙行

昭和 54 年 4 月 13 日 : 学校法人設立登記完了

昭和 54 年 4 月 24 日 : 自動車分解整備事業認証申請書提出。

昭和 54 年 6 月 1 日 : 同上認証される。(認証番号第 4-3580 号)

昭和 54 年 6 月 1 日 : 一種養成施設指定申請書提出

昭和 54 年 9 月 19 日 : 同上指定される。(指定番号一養第 367 号)

昭和 56 年 3 月 18 日 : 第 1 期生 104 名卒業

昭和 56 年 3 月 21 日 : 第 2 実習教室棟完成

昭和 56 年 4 月 1 日 : 入学定員の変更。1 学年 160 名から 170 名へ増員する

昭和 57 年 2 月 10 日 : 食堂棟完成

昭和 58 年 4 月 9 日 : 中川裕之副理事長が理事長に就任する

昭和 59 年 8 月 20 日 : 創立 5 周年記念式典挙行

昭和 62 年 4 月 1 日 : 入学定員の変更。1 学年 170 名から 280 名へ増員する

昭和 62 年 4 月 6 日 : 第 2 学科教室棟・第 3 実習教室棟完成

平成 1 年 10 月 28 日 : 創立 10 周年記念式典挙行

平成 10 年 3 月 31 日 : 車体整備実習教室完成

平成 16 年 6 月 1 日 : 一級自動車整備科教室棟完成

平成 17 年 4 月 1 日 : 学校名称を関東工業専門学校から専門学校 関東工業自動車大学校へ変更

平成 25 年 4 月 1 日 : 一級自動車整備科 (4 年制) 及び車体整備科を正規課程へ変更
自動車整備科を二級自動車整備科へ名称変更

平成 29 年 4 月 1 日 : 国際サービスエンジニア科を設置

平成 30 年 7 月 31 日 : 専門実践教育訓練給付の認可される

3. 各学科の教育

①入学者数、収容定員、在学学生

学科	昼夜別	修業 年限	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数
二級自動車整備科	昼間	2年	160名	320名	126名	238名

②資格取得

「二級自動車整備科」

養成資格：二級ガソリン自動車整備士

二級ジーゼル自動車整備士

二級二輪自動車整備士

本校会場資格：乙種第四類危険物取扱者

ガス溶接特別教育

有機溶剤技能教習

アーク溶接特別教育

低圧電気取扱特別教育

巻上げ機運転特別教育

フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

ソーシャル検定（中級・上級）

フォークリフト運転資格

玉掛け技能講習

小型移動式クレーン運転技能講習

特定化学物質作業主任者

外部会場資格：損害保険初級代理店

職業訓練指導員

中古自動車査定士

タイヤ空気充てん作業特別教育

「一級自動車整備科」

養成資格：一級自動車整備士（小型）

その他の資格は二級に準じます

③卒業者数と就職率（令和6年度）

学科	卒業者数	就職希望者数	就職者数	進学者数
二級自動車整備科	29名	16名	16名	13名

4. 教職員数

教職員数：専任教員 34 名、専任職員 18 名 合計 52 名

5. キャリア教育・実践的職業教育

①キャリア教育

科目名：職場教養 2 年間で 24 時間

授業概要：就職活動をするにあたり、基本的な一般教養、書類の書き方、面接の心構え及び企業人としての接客スキルを指導する。

②就職支援

就職希望調査、就職ガイダンス、企業研究（任意の企業を 1 社訪問）、就職説明会
模擬面接、就職模試、個人指導

③インターンシップ

内定者研修・・・内定を頂いた企業にて研修

二級自動車整備科・・・36 時間

一級自動車整備科・・・36 時間

車体整備科・・・36 時間

体験実習・・・一級自動車整備科 4 年次前期の必修科目として、学校斡旋企業にて研修

一級自動車整備科・・・240 時間

6. さまざまな教育活動・教育環境

・クラブ活動

レース部、ドリフト部、ラリー部、二輪部、エコラン部、電動カート部

レストア部、バスケット部、野球部、ソフトボール部、卓球部

7. 学生の生活支援

学習状況、学校生活状況等を相談スタッフが学生本人及び担任、教科担当者と相談をしながら問題解決をしてゆく

8. 学生納付金・就学支援

①学生納付金（二級自動車整備科）

	1 年次				2 年次		
	入学手続時	3 月末	8 月末	12 月末	3 月末	8 月末	12 月末
入学金	330,000						
授業料		160,000	150,000	150,000	160,000	150,000	150,000
実習費		100,000	95,000	95,000	100,000	95,000	95,000
施設管理費		60,000	110,000	110,000	100,000	90,000	90,000
合計	330,000	320,000	355,000	355,000	360,000	335,000	335,000

※分納制度については、ご相談いただいた方へ対応させていただいております

②奨学金制度

- ・ 関東工業自動車大学校特待生制度
成績優良者に対し、学費の一部を助成する制度。

9. 学校の財務

- ・ 貸借対照表は別添

10. 学校評価

令和 5 年度学校関係者評価報告書を HP で公表

11. その他

- ・ 学則